

2023年のデリバリー市場規模は8603億円の見込み

成長率は前年比11%増、コロナ前比106%増

<外食・中食 調査レポート>

2023年12月18日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社（東京都港区）は、デリバリー市場レポートを2023年12月18日に公表します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。2023年1-12月計のデリバリー（出前）市場規模は、8603億円で、前年同期比11%増、コロナ前比106%増の見込みです。

2023年のデリバリー市場規模は8603億円の見込み

2023年1-12月計のデリバリー（出前）市場規模は、8603億円で、前年同期比11%増、コロナ前比106%増の見込みです（図表1）。2022年は前年比でマイナスとなりましたが、2023年は再び大きく成長となりそうです。

<図表1> デリバリー（出前）市場規模推移（億円）



*小売店、弁当・総菜店、自動販売機、学食・社食を除くレストラン業態（宅配ピザ含む）における宅配

出典: Circana, CREST®, 2015年1月 - 2023年10月のデータを基に2023年の見込みを試算

食機会数も伸長

デリバリーの食機会数（利用して食べた人の延べ人数）は、金額ほどの伸びはないものの、コロナ後の2023年も大幅に増加の見込みです。食機会数も市場規模と同様に、2022年は前年比でマイナスとなりましたが、2023年は再び大きく成長となりそうです。

エヌピーディー・ジャパン フードサービスシニアアナリストである、東さやか（あずま・さやか）は、デリバリー市場の現状と展望について、次のように話します。「2023年は、アフターコロナで、外食（イートイン）の回復が進みましたが、コロナ下で成長したデリバリーも成長が続きました。デリバリーの消費シーンは、コロナ前と比べると変化しました。デリバリー店舗を選ぶ時の理由も変化してきており、今後は、クーポンや安さではなく、レストランの選択時と同様に、おいしさやお気に入りの店でより選ばれるようになるでしょう。アフターコロナの今こそ、消費者と消費行動の変化を再確認し、変化に対応すべき時と言えるでしょう。」

***1** [CREST®](#)

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを1年365日、消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界12か国で実施。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

■ 本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：東（あずま）さやか

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL : 03-5798-7663

Email : circanajapan.info@circana.com

■ 会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003年 4月 31日

所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL (03) 5798 - 7663

資本金 80,000,000円

株主 The NPD Group Inc. (100%)

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会